

ジオラマ班

前回より作業が進んでいて、住宅街もあり、車も消しゴムで制作されている様子も見られました。佐賀空港の飛行機も忠実に再現されていて、より、川副町らしくなった気がします。



○活動内容

ジオラマを作るだけじゃなく、地形、歴史、教育・文化の調べ学習をしています。

下の写真のように橋をどのように作るかなどメモされていたり実際に現場に行って実物を見たりしています。



橋づくりの歴史についても調べています



川副大橋をどう作るか試行錯誤しています

○色の意味

- ・水色→海、川、クリーク
- ・緑色→芝生、森林
- ・黄色→畑、田
- ・オレンジ→道路
- ・ピンク→川の水が増えたとき水がのるところ



※実際には色がわけられていて分かりやすく作られています

○これからに向けて

「ジオラマの世界がだんだんひろがっています。広がる先は歴史的な分野、教育的な分野、地形的な分野、産業的な分野です。地域の皆さんに安心していただけるようなジオラマを作っていけるようこれからもジオラマ班のみんなで協力して作っていきます。」

ハザードマップ班

ハザードマップ班では11月7日のSDGs発表会に向けて、ハザードマップの特徴や活動内容をまとめたパワーポイントの作成、各地区の地図に色をつけたオリジナルのハザードマップの作成を行っています。11月7日の発表会では川副町の洪水への備え、気を付けることを発表しようと思っています。いつ起こるかかわからない洪水に備え、避難する場所や危険なところを分かりやすくなるように、色塗りなども工夫しています。

<講演会の感想>

7月7日に県防災士会会長の溝上さんにお話に来ていただき、洪水についてみんなで考えることができました。その時の講演の感想を生徒に聞きました。



避難するときに場所の選び方などを教えていただきました。もしもの時に備えて学ぶことができました。



川副は土地が低いので津波や洪水が多い土地だとわかりました。



溝上さんのお話を聞いている様子

<今後の活動>

ハザードマップに避難所の写真や色ごとの説明を載せ、より本格的な地図にして回覧板で周知することを計画しています。前回の防災通信で実施した防災アンケートで現時点では10代9名、20代が2名、30代が3名、40代が7名、50代が12名、60代が3名、70代1名、合計37名の方に現時点でご回答いただいております。図1は自分が住む地区または川副町のハザードマップを持っているかというアンケートで、図2は図1で川副町のハザードマップを持っていないとご回答された方の主な理由です。これからハザードマップ班は、ハザードマップを持つことの大切さ、避難時に必要なものなどの情報を、発信班を通して皆さんに発信をしていきます。災害時に『誰一人取り残されない』ように防災に関する情報をお届けします。今後も回覧板を通して発信班の活動を確認していただけると嬉しいです。

図1

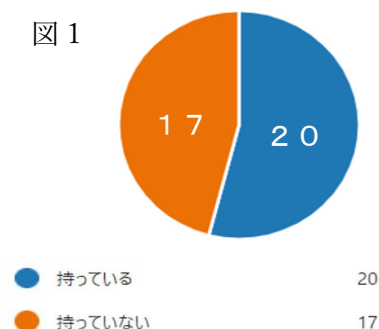
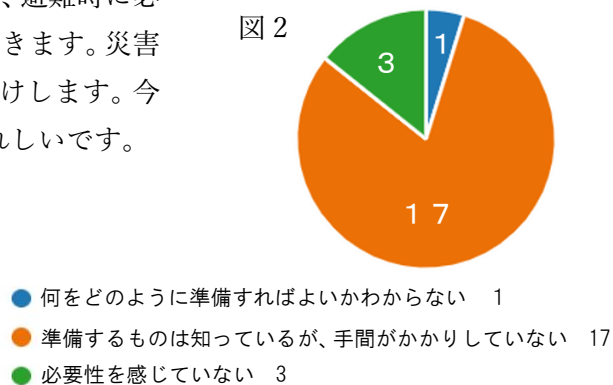


図2



これから学習に生かすために、「防災」「減災」に関するアンケートをお願いしています。みなさんの家庭ではどのような防災をしていますか？

すでにご回答された方も2回目の回答が可能です。よろしければ、右のQRコードからアンケートにご協力ください。たくさんのご意見、お待ちしております。



体験を生かす班

体験を生かす班は、さまざまな体験から避難について学んでいます。非常食づくり、赤十字の方の講演会、支所への訪問、非常バッグの作成を行いました。今回はこの4つについて紹介します。

《赤十字社講演会》

講演会では、避難所での生活について教えていただきました。住宅や家財への大きな被害、水道・電気・ガスなど生活に必要なものの停止、不自由な避難生活にストレスを感じることもおかしくないそうです。また、災害から命を守るために「自助」「共助」が大切です。そのために必要な、1人1人が自分と周りを大切にする意識を川副町でつくっていきましょう。

《感想》

・みんなで協力して、非常用持ち出し袋に入れる備蓄用品を考えました。わたしは、重たくて大きいものは持って行かず、生きるために必要な備蓄品を持っていくといいと思いました。



《非常食づくり》



○特徴

1. 最低限の材料
2. 保存や持ち運びに便利
3. 熱に強い
4. 食品や箸がなくても大丈夫
5. 片付けが楽
6. 焦げたりせず確実に出来上がる

○作り方

1. 窯を組み立て、水を張り、沸騰させておく
2. ハイゼックス(非常用炒飯)と米と水を用意
3. ハイゼックスに油性マジックで名前を書く
4. 一合(5勺の米の線)まで水を入れる

〈感想〉・ポリ袋でのお米の作り方がわかった。

・温かく、給食に出てくる白米よりも少し硬く味はあまり変わらなかった。

《支所への訪問》

○役所職員の西山さんのお話

- ・病人が出た時の対処法→避難所には、体調の悪い方を見られる医療機関の方が1人いる。
- ・避難するときは履きなれた運動靴の方が良い
- ・各避難所にはタブレットがあり、備蓄品がどれだけ減ったかわかる。
- ・持ち出し袋は、3~4キロが想定される。



〈感想〉

- ・予想していたとおり一階には重いものが置いてあった。二階には、手間をかけるものが少なく小さいものが置いてあった。
- ・思っていた以上に備蓄品がそろっていて驚きました。今回学んだことを、実際に災害が起きた時に生かしたいです。

《非常バックの作成》

講演会で3日間で必要なものを知ったのでそれを生かして実際に川副バッグで非常バックを作りました。

《バッグの中》

- | | | | |
|-------------|---------|---------|------------|
| ・水 4.5ℓ | ・水タンク | ・携帯用まくら | ・魚肉ソーセージ |
| ・カロリーメイト 3個 | ・防寒着 | ・ドライバー | ・ウエットティッシュ |
| ・ソイジョイ×2 | ・紙コップ | ・メモ帳 | ・大麦若葉×3 |
| ・カイロ 10×2 | ・アルミホイル | ・圧縮袋 | ・ゴミ袋 |
| ・カップうどん×2 | ・ラップ | ・手袋 | ・タオル |
| ・カップスープ×3 | ・割りばし | ・カッター | ・インスタントみそ汁 |
| ・缶詰×3 | ・スリッパ | ・筆記用具 | ・非常用トイレ |
| ・携帯用下着 | ・懐中電灯 | ・乾電池 | ・スマホ充電器 |

→保存がきくものであれば、生活に飽きないように好きなものを入れておくのも◎



《感想》

(水だけ)

(+食料)

- | | |
|----------------|-----------|
| ・重かった | まだからえるくらい |
| ・テストで教科書が増えた感覚 | まあまあ重い |

最低限の日用品を入れると

- ・雨が降り、道が不安定なときは大変だと思う
- ・後ろに倒れそうなくらい重く、歩きにくい